

[標準様式例 7-3]

随意契約結果及び契約の内容

業 務 の 名 称	R 2 関東地方整備局管内水文観測データ品質照査検討業務
業 務 概 要	本業務は、水文観測データ（降水量、水位、流量）の品質照査として水文観測業務規程に基づく高度照査検討及び学識経験者等から構成される品質管理組織の審議に係わる運営支援等を行うものである。
契約担当官等の氏名並びにその所属する部の名称及び所在地	支出負担行為担当官 関東地方整備局長 石原 康弘 埼玉県さいたま市中央区新都心2番地1
契 約 年 月 日	令和2年 4月3日
契 約 業 者 名	一般財団法人河川情報センター
契 約 業 者 の 住 所	東京都千代田区麴町1丁目3番地
契 約 金 額	¥29,920,000円（税込み）
予 定 価 格	¥29,920,000円（税込み）
随意契約によることとした理由	本業務を遂行するためには、高度な技術や経験を必要とすることから、業務実施方針及び手法、特定テーマに対する提案などを含めた技術提案を求め、簡易公募型（拡大型）プロポーザル方式により選定を行った。 技術提案書をふまえ当該業務を実施するのに適切と認められたため、上記業者と契約を行うものである。
業 務 場 所	埼玉県さいたま市中央区
業 種 区 分	土木関係建設コンサルタント業務
履 行 期 間 （ 自 ）	令和2年 4月4日
履 行 期 間 （ 至 ）	令和3年 2月26日
備 考	会計法29条の3第4項 予決令第102条の4第3号

備考

公表対象随意契約が単価契約である場合には、契約金額欄に契約単価を記載するとともに、備考欄に単価契約である旨及び契約単価に予定調達数量を乗じた額を記載する。